

# 政 策 16

～緑と花に親しむことができるようにします～

## 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

### 【めざしたい将来像】

生きものやみどりと共に暮らすために、みどりの市民力による協働を推進します。そして、人と自然を大切にする思いやりの心をもち、豊かで潤いのある生活ができるまちを実現します。

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
緑地・河川などの 自然環境に満足 している人の割 合	めざそう値 (目標)	—	22.0%	21.4%	—	23.5%	25%
	実績値	19.4%	20.6%	18.8%	21.5%		
里やまボランティ ア活動団体数	めざそう値 (目標)	—	—	16団体	—	19団体	23団体
	実績値	12団体	13団体	14団体	16団体		
花いっぱい運動 活動団体数	めざそう値 (目標)	—	—	80団体	—	100団体	101団体
	実績値	68団体	76団体	88団体	97団体		
公園緑地活動団 体数	めざそう値 (目標)	—	—	158団体	—	164団体	180団体
	実績値	145団体	147団体	153団体	159団体		
身近で、緑が守 られ、増えている と感じる人の割 合	めざそう値 (目標)	—	—	12%	—	13.1%	18%
	実績値	6.2%	6.2%	7.0%	7.4%		

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

# 政策16

## 緑と花に親しむことができるようにします

### 1. 現況と課題

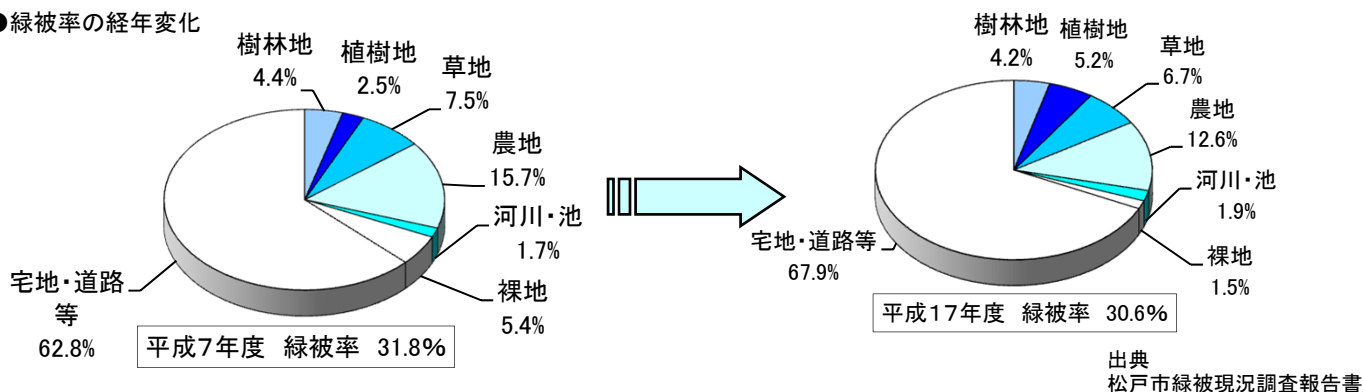
平成17年度に調査した結果では、本市の緑で覆われた面積は約1,880haで、市全体面積の30.6%となっており、7年度の31.8%から若干減少しています。最も面積が大きいのは農地で、次いで、樹林地・草地の順となっています。本市の緑を代表する地区として、21世紀の森と広場周辺、江戸川河川敷などがあります。逆に、緑が比較的少ない地区は、常磐線・新京成線沿いの住宅地を含む都市的な地区です。

市民インタビューなどで、松戸市の良さを聴くと、「緑の豊かさ、自然条件の良さ」をあげる方が大変に多く、都心に近い割に、緑が豊かであるというのが特徴です。しかし、市民意識調査によれば、「緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合」は、平成13年度の21.1%から24年度の22.0%となっており、単に緑の量の確保だけでなく、緑や花に親しむ機会を増やしたり、質を向上させることも望まれます。また公園については、開園から30年以上経過したものが多く、施設の老朽化やバリアフリー化、健康増進、地域防災機能の強化等、多様化するニーズへの対応が求められ、21世紀の森と広場についても、さらなる魅力アップが求められています。

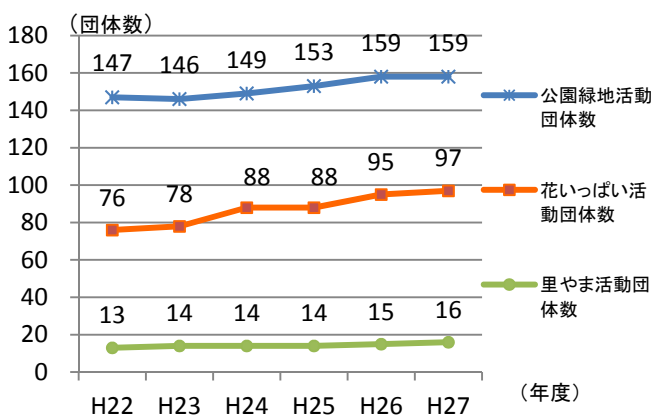
今後は、市民と行政の協働により、みどりの担い手を育てるなど、市民と行政が一体となった緑地の保全や緑化の推進が課題となっています。

- 【特筆すべきニーズの変化】**
- ① 生活に潤いを求めるため、緑の多い住環境で暮らしたいと思う人が増えています（ニーズの増）
  - ② 歩ける範囲のところに公園などがあり、近所の人と憩うことができるような日常生活が望まれています（ニーズの増）
  - ③ 公園に対するニーズが多様化しています（ニーズの多様化）

#### ●緑被率の経年変化



#### ●みどりの担い手の推移



#### 【花いっぱい運動】

まちを花でいっぱいにしようと、市内各所で現在97の花の愛護団体の皆さんが、花壇をきれいに維持するために日々の手入れや水遣りを行っています。市では、花の愛護団体への支援として、花壇の整備や技術指導、花の苗や種の配布などを行っています。

#### ●緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合

	平成16年度	平成18年度	平成19年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度
十分満足している	1.4%	2.4%	2.9%	2.2%	2.6%	2.9%	2.1%	2.6%
まあまあ満足している	17.0%	15.8%	19.8%	17.3%	18.0%	19.1%	16.7%	18.9%
計	18.4%	18.2%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%

出典：松戸市市民意識調査（平成27年度）



花いっぱい運動



里やまボランティア活動

## 2. 施策の展開方向

緑の基本計画（平成21年3月改定）に基づき、「貴重な自然環境の保全・創造」「都市公園の整備活用」を進め、防災・環境保全・レクリエーション・景観形成といった緑の多面的機能を質、量ともに向上させます。特に身近な公園の再整備や、松戸市を代表する公園である21世紀の森と広場の魅力アップを図ることで、市民が緑に触れ合う機会を増やしていきます。また緑の資源を有効に活用するために、みどりの担い手（緑や花に関する活動をする市民や団体）づくりも積極的に進めていきます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

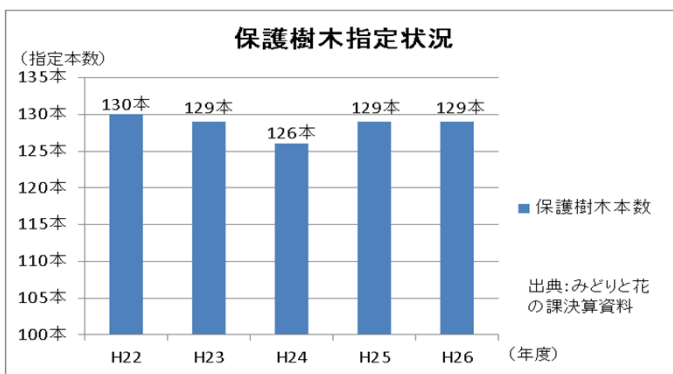
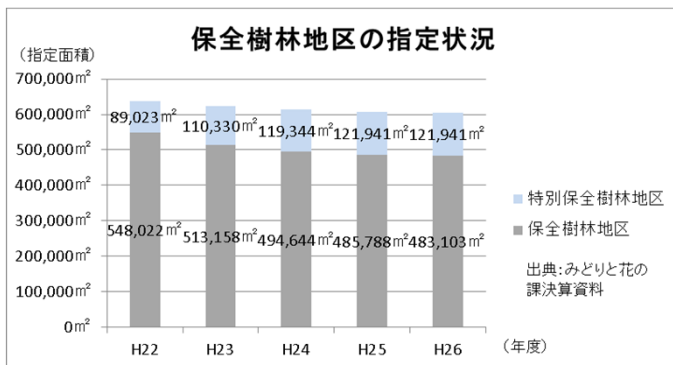
身近な公園や森では、多くの市民による緑や花の活動が行われていますが、活動団体数が増加している一方で、団体を構成する市民の高齢化が進んでおり、将来的にみどりの担い手が減少していく可能性もあり、今後市民への更なる働きかけが必要になります。

松戸市を代表する公園である21世紀の森と広場や戸定が丘歴史公園では自然や歴史に関する資源を生かすための新たな工夫が必要です。

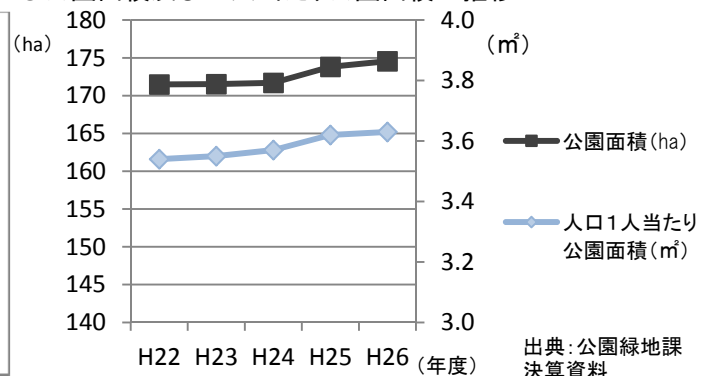
利用者のニーズにあった身近な公園の再整備が必要です。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

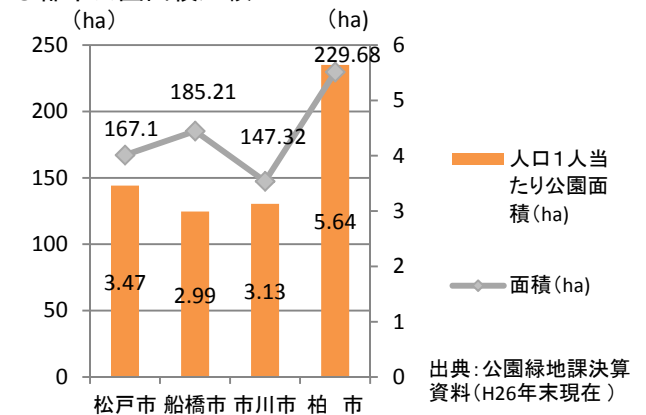
- ① 身近な公園や森では、多くのボランティア団体が活動しています（強み）
- ② 50.5 haもの広大な面積を持つ総合公園・21世紀の森と広場があります（強み）
- ③ 国の名勝指定を受けた戸定が丘歴史公園があります（強み）
- ④ 開設後30年以上経過している公園が半数以上を占めています（弱み）



### ●公園面積及び一人当たり公園面積の推移



### ●都市公園面積比較



### ●21世紀の森と広場 講座風景



### ●21世紀の森と広場ドコでもシアター



